

平成27年度 事業計画

昨年度は、残念ながら昭和46年依頼、震災を除き下呂温泉宿泊客は100万人を下回ってしまいました。消費税アップ、バスの規制による団体客の減少、ガソリンの高騰、高速料金の割引廃止、御嶽山の噴火、週末の天候不順など大変な1年であったこと、それに加えてまだまだ低単価競争など下呂温泉を取り巻く環境は厳しく、先行き不安な要素が多くありますが、27年度は安倍政権の地方再生にあわせて官民一体となって元気な下呂温泉をアピールし地域の活性化に向けた取り組みを実施して参ります。

特に本年度はまちづくりを重点的に進めていきます。昨年関係各位にお集まり頂き、素肌美人プロジェクト会議（外湯）を開き、太田広先生に下呂にしかないもの、下呂に来なければ体験できないものは何かをしっかりと勉強させていただきました。27年度はそれを実現する年であると考えております。当然市当局、議会と連携しながら進めて参ります。

各委員会での取り組みは誘致宣伝委員会は、各方面からの入込状況などの調査・研究を引き続き進めて参ります。誘致事業においては、本年度もネット、ラジオ、テレビなどを活用した広告宣伝を行い、関東地方をはじめ、東海・北陸・関西・中国・九州方面に至るまでの広範囲にわたったキャラバンを実施します。

MICE事業では、下呂市、下呂商工会、下呂温泉旅館協同組合、下呂市コンベンションビューロー、ふるさと文化財団などとの連携を強化し、経済の活性化、雇用の拡大を図る事業を進め、下呂交流会館「アクティブ」を中心に、「MICE」によるコンベンションを活用して効果的な誘致活動を進めます。

交流研修委員会では、下呂市の観光資源を対象にした下呂市の観光資源視察研修や先進地の視察調査研究をして参ります。また、まちづくり委員会と共同で、街づくりの研修を行なって参ります。

まちづくり委員会では、26年度に行った素肌美人プロジェクト会議（外湯）について引き続き実施に向けた取り組みを展開して参ります。また環境整備事業として植樹・清掃活動などを行い、顔だし看板、トリックアートなど魅力ある観光地づくりを目指し、おもてなしの心の向上を図って参ります。

おもてなし委員会では、下呂温泉に訪れたお客様に満足していただけるよう、おもてなしの心で、お客様の目線に立って各イベントを行なって参ります。

下呂市観光協会連絡協議会では、市内各地域との一層の連携と行動、協働作業により豊富な観光資源を連携させ、更なる魅力アップに努めて参ります。

その他、富加・関インターからの県道アクセス、41号線雨量規制緩和、リニア中央新幹線までのアクセスの向上、河川及び景観の整備、安全確保のための基盤整備、“ワイドビューひだ”の大阪直通便の増発、北陸新幹線を含めた高山本線の有効的な活用など関係機関へ働きかけを引き続き行って参ります。

また、外国人誘客のための招致事業や観光展への参加など、インバウンド事業も積極的に進めて参ります。

下呂温泉年間宿泊者数が120万人に到達するための数値目標を定め、常に現状を見極め、汗をかきながら日本の宝である下呂温泉の更なる発展と雇用の確保、地域の活性化を目指して参ります。関係各位のご厚情と会員の皆様のご協力をお願い致します。